

## 関東同窓会総会の計画について

上原 昇（2組）

4月21日（水）の夜、関東同窓会の幹事会が開催され、私も65期代表幹事として、慣れないリモートで参加しました。昨年の初めからコロナ感染を避けるため、同窓会活動も幹事会に限らず、大人数が一堂に会する集まりはしていません。幹事会では今年の総会について執行部案が提示されました。

それによると、今年の総会は、6月26日（土）の予定ですが、演奏会、懇親会はやらず、総会と講演会を感染対策したうえで行うとのことでした。

会場（如水会館）参加者は130名程度に制限して、リモート参加を併用します。総会の開始は13時30分から、講演会は14時30分から1時間の予定です。参加費用は無料とします。

講演会の講師は関良基さん（86期、京都大学（農、博士）卒、拓殖大学教授）、演題は『日本近代化の魁 赤松小三郎と松平忠固』。

関さんは著書として、『赤松小三郎ともう一つの明治維新』（作品社、16年12月刊）、『日本を開国させた男、松平忠固』（作品社、20年7月刊）を上梓しています。実は関さんには、昨年の総会で講演をしてもらう予定でしたが、コロナ禍で実現できませんでした。

詳細については、5月下旬に配布される会報102号をご覧ください。

ただし、今後のコロナ感染次第で総会もどうなるかギリギリまで分かりません。

以上  
(2021年4月22日)

【関良基さん】

